

# Report on KAGRA detector characterization

Hayama  
OCU

- ノイズバジェット
- DetCharシステム
- 防振系DetChar
- バイオリンモード
- 相関磁場雑音
- 多チャンネル解析

# DetCharミーティング



- 毎週火曜日 10時～11時にミーティングをする事になった。

- 内容は

<http://gwwiki.icrr.u-tokyo.ac.jp/JGWwiki/KAGRA/Subgroups/DET>

のTelecons & Meetingにある。

# Detector Characterization



干渉計の状態の把握し、悪いところを除去するサポートを行うためのシステム作り

- 定常的な雑音

ノイズバジェットの把握

- 非定常的な雑音

複数チャンネルの解析

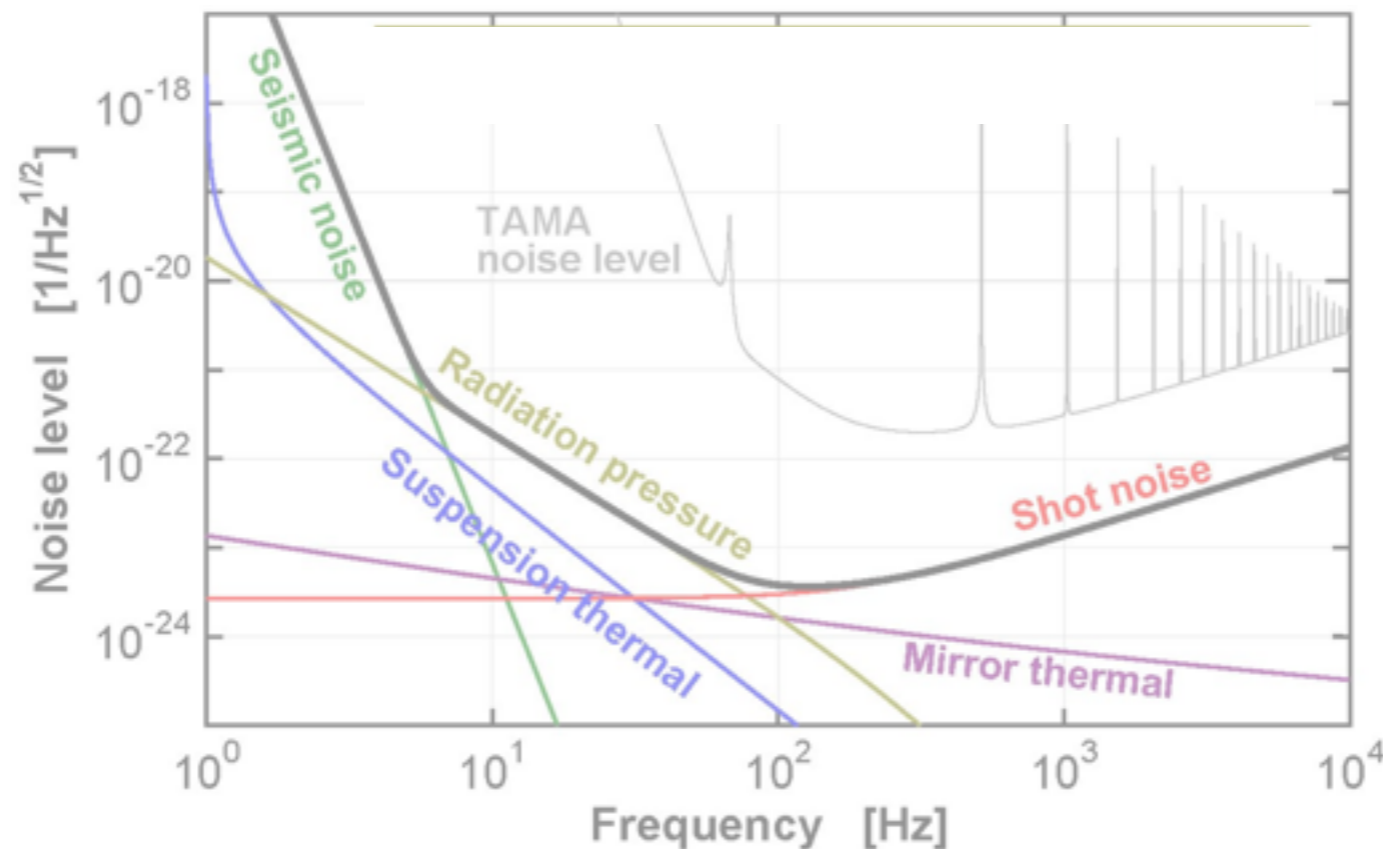
- データの質の評価

- 潜在的に問題となり得る雑音源についてのスタディと、装置へのフィードバック

# ノイズバジェット



LIGOの河邊さんにコンタクトをとって、eLIGOで使われたmatlabベースのノイズバジェット計算ソフトを紹介紹介していただいた。それを参考にKAGRA用のものを開発していく。

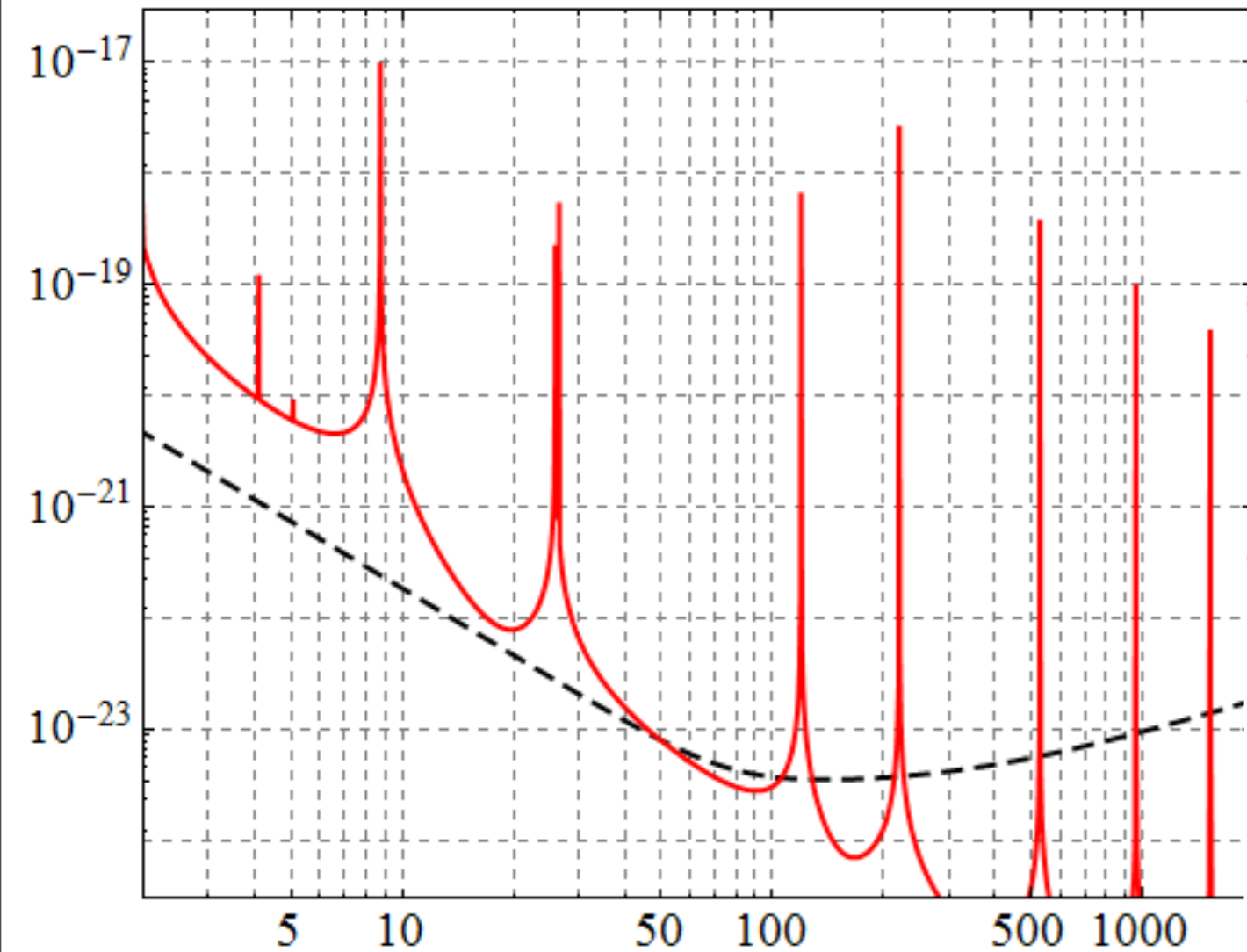


# バイオリンモード

- 
- サファイアファイバのQ値が $\sim 10^8$ あり、200Hzでは一度励起すると $1/e$ に落ちるまで2日以上かかる。ロックの継続時間がそれ以下であれば、観測中、常に励起されている事になる。
  - 制御も含めて考えると、ラインの裾でノイズフロアがリミットされる可能性。
  - これらは非定常イベントの発生源になる。
  - 今後関係するサブシステムと連携して影響の評価と対策を議論。(現在、DET譲原、山本、阿久津、端山、VIS関口、MIF麻生、CRY山元)

<http://gwwiki.icrr.u-tokyo.ac.jp/JGWwiki/KAGRA/Subgroups/DET/violin>

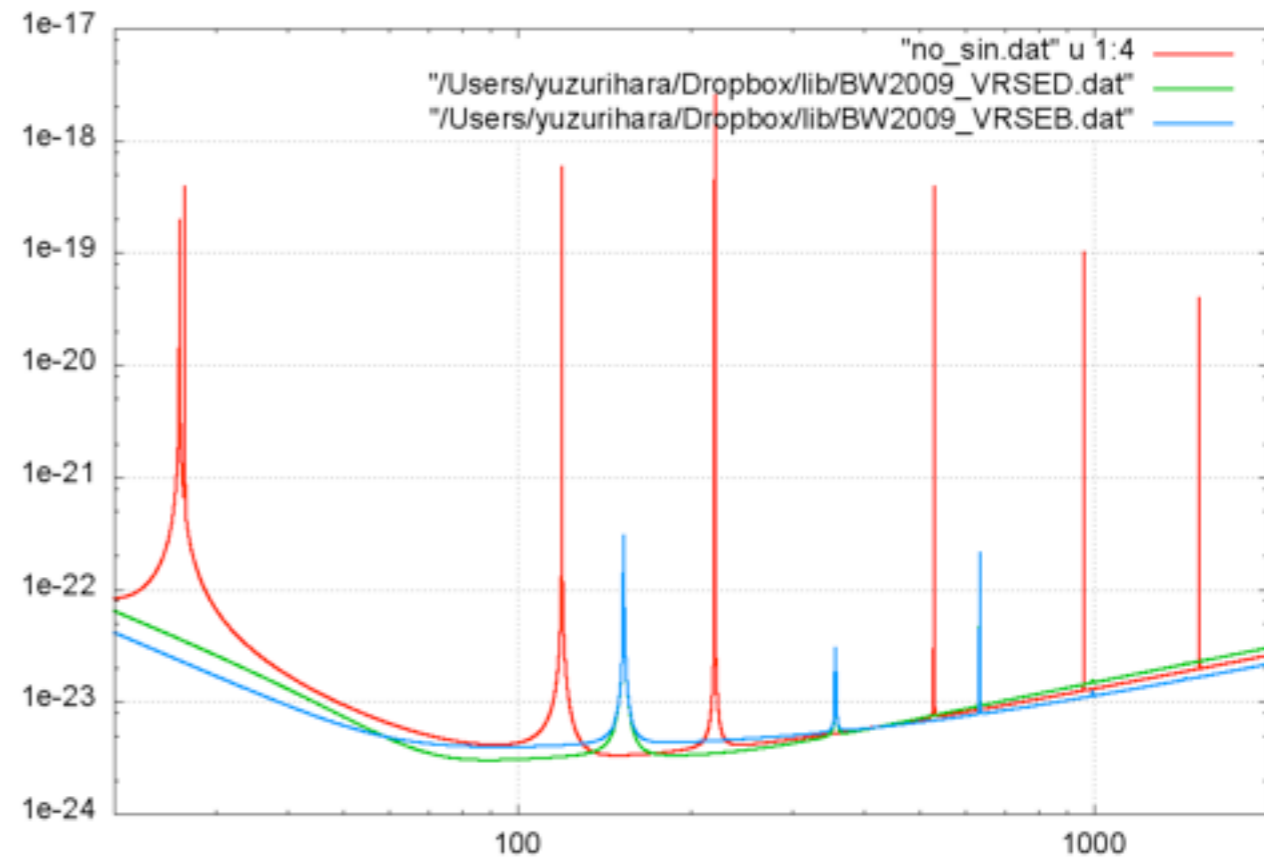
# バイオリンモード



関口氏計算

インスパイラルレンジの違いも見たい。  
プレリミナリーだが、  
1.4MoBNS SNR=8で215Mpc (譲原)

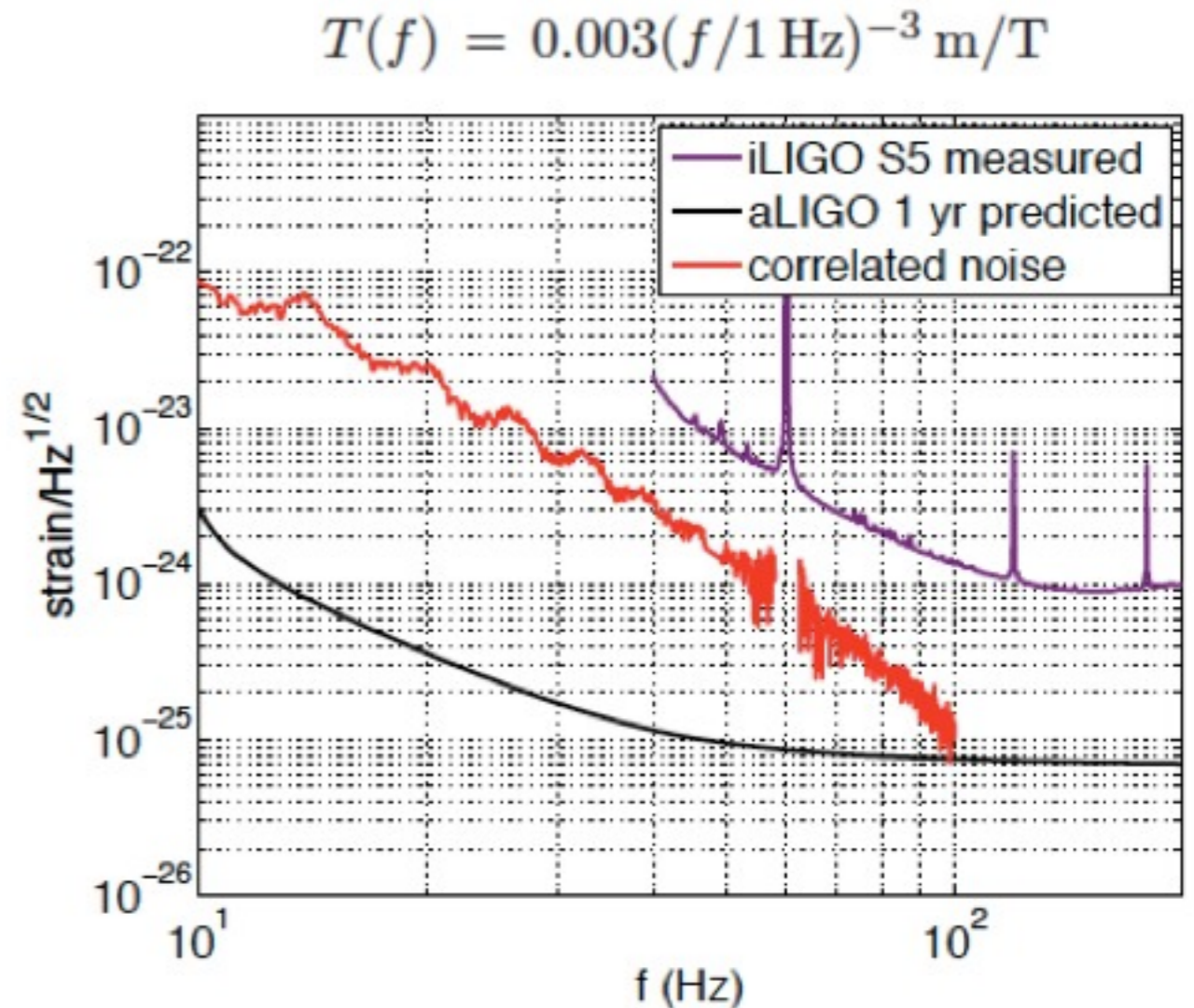
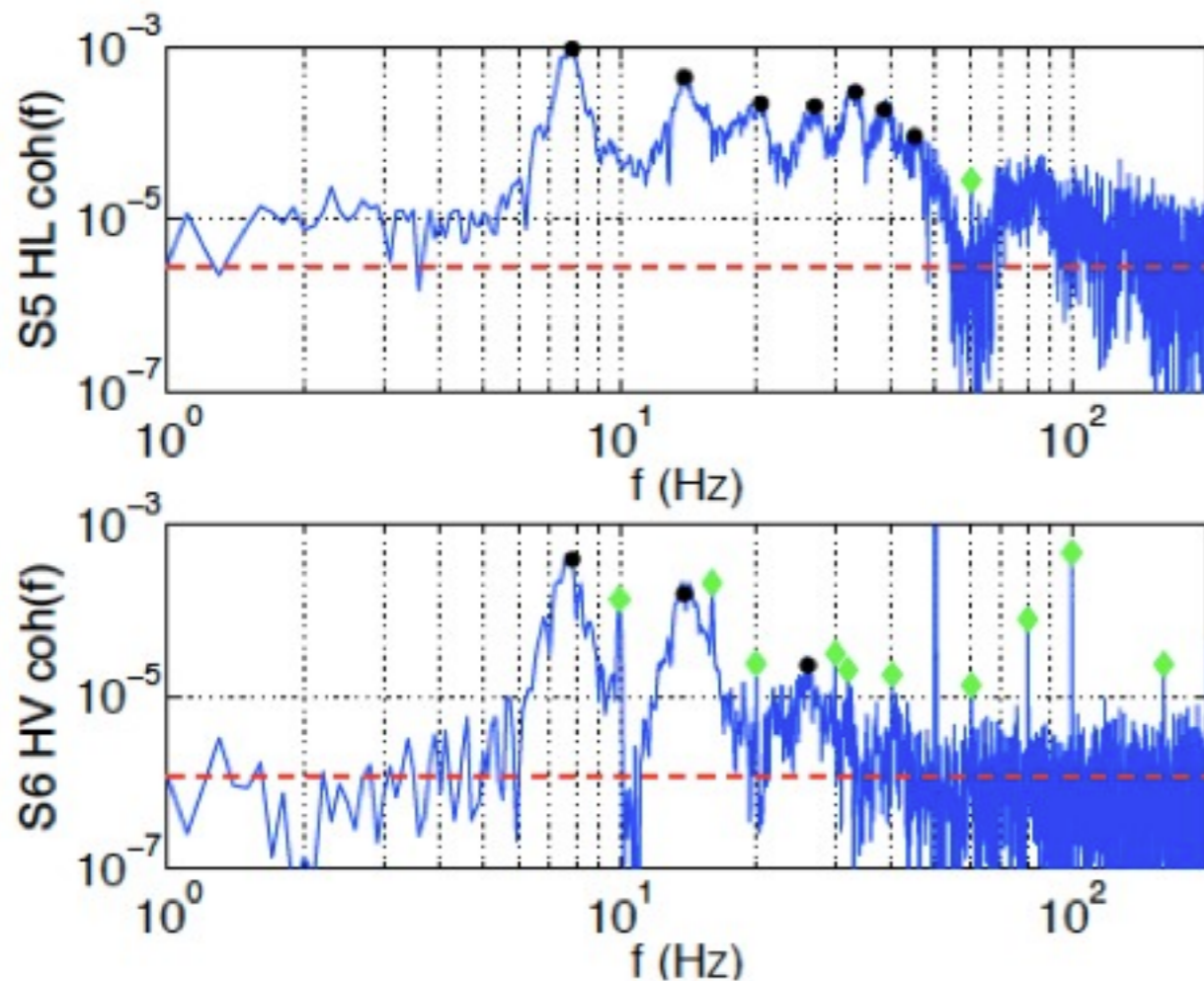
オフィシャルとの比較



# 相関磁場雑音



- シューマン共振が重力波観測に影響を与える可能性がある。  
<http://gwwiki.icrr.u-tokyo.ac.jp/JGWwiki/KAGRA/Subgroups/DET/MagneticNoise>



# スタディプラン



**相関磁場雑音が観測に影響しないようにする。**

**西澤(京大)を中心にして検討を開始した。**

<http://gwdoc.icrr.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/private/DocDB/ShowDocument?docid=1599>

- 磁場－ミラーカップリングをモデルを使って評価しておく。
- 神岡での磁場を知る
  - ローカルな磁場の測定
  - 坑内外の磁場伝達関数を測ってシューマン共振が坑内にどう伝達されるか調査
- 観測が出るかどうか調べる
  - 影響が出ない場合、スタディ終了
  - 出る場合シールドできるか調べる
- 並行して磁力計で相関磁場雑音をさっ引けるかどうか調べる



# 多チャンネル解析

**KAGRAの環境モニタ・装置モニタの情報を駆使して、雑音源除去のサポートとVeto解析に役立てる。**

- **統計数理研究所の間野准教授が興味を示して下さいっており、メールのやり取り。**
- **近く、こちらがやっている事などを紹介して、具体的なアドバイスなど。**

# 防振系detchar



- 日程、やること等、調整
- DetChar側の目的
  - Detcharシステムを使ってもらってそのフィードバックを得ながら、より使えるシステムを開発していく。
- VISへの何らかの貢献

# Detcharシステムの開発



- DMT、LALdetcharとKAGRA独自のツール。
- スタンダードなものはDMTに乗せていく。

# その他



- 韓国detcharとの共同研究
- UTB detcharの提案について
- 観測シフトタスク（detchar関連）
- 各サブシステムへのツールについてアンケート